

月刊



湖国が滋る・水と緑の街づくり

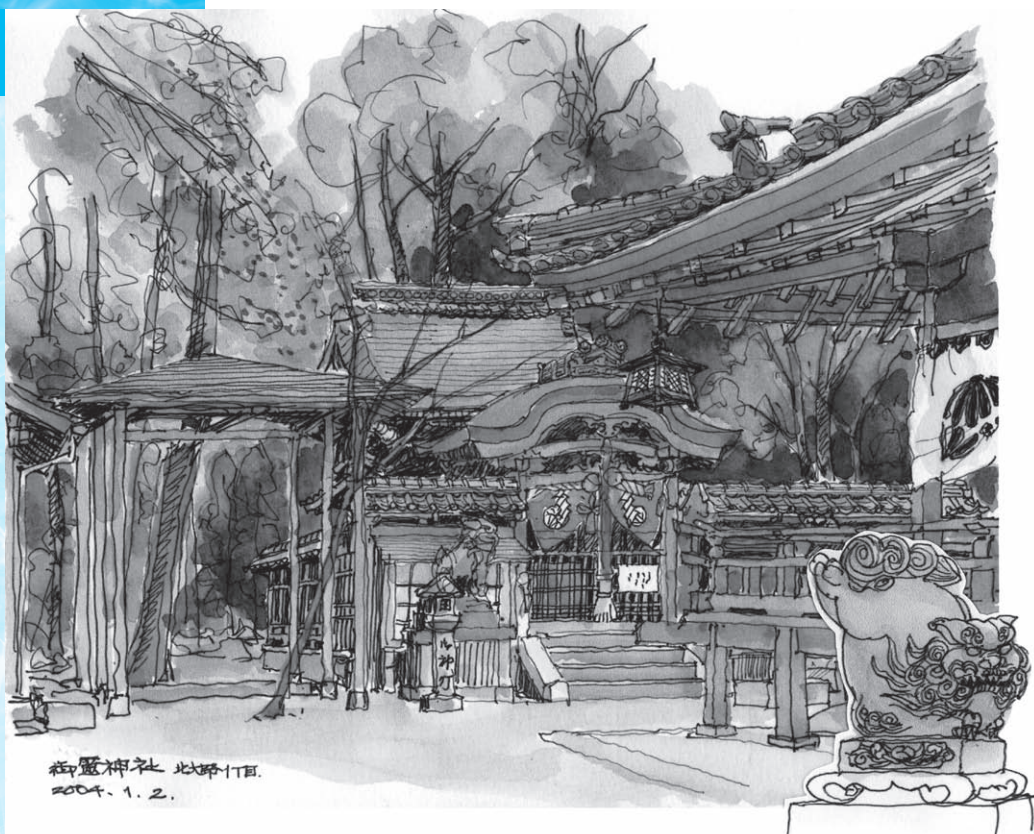
平成25年11月1日発行 通巻214号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- ・総務企画委員会
第56回建築士会全国大会
「しまね大会」報告…………… 2
- ・青年委員会
あーき塾2013 風景をつくる素材と
技シリーズ『瓦』事業報告
- ・平成25年度建設事業功労滋賀県
知事表彰受賞
連合会会長表彰…………… 3
- ・青年委員会
研修旅行のお知らせ 予告!
- ・女性委員会
Doシリーズ No.65
コミュニケーションスキルを
高めよう!…………… 4
- ・情報広報委員会
フォトコン作品募集…………… 5
- ・機関誌「家」2014号「会員の声」
原稿募集
- ・平成25年度第2回 滋賀県木造住宅耐震診
断員および 滋賀県木造住宅耐震・バリア
フリー改修工事講習会のおしらせ(新規登
録者および登録更新希望者対象)…… 6
- ・アイ・湖国びと…………… 7
- ・地区だより
甲賀地区…………… 8
- ・11月の暦
- ・足のむくま 近江再発見 第14回



御霊神社(大津市北大路1丁目)

瀬田唐橋を挟む石山と瀬田の地に、御霊神社が三社あり、いずれもが壬申の乱で亡くなつた弘文天皇(大友皇子)を祭神とする。瀬田唐橋西詰、鳥居川町の御霊神社と近江国庁跡が立地する三大寺丘陵の一角にあり、国庁跡の北東隅付近(大江六丁目)に鎮座する御霊神社。そして、この北大路一丁目に鎮座する御霊神社の三社。

北大路の御霊神社は、もと相当な大社だったらしく、近隣の国分・寺辺・平津・寺内(位置不明)の鎮守で、北大路を含め五領(霊)明神とも称したという。そして西の庄の石坐神社と団体であったこと、かつ大友皇子の死地に近いことから、いつの頃からか大友皇子を祀り始めたと伝える。本殿は一間社流造、元禄六年(1693)に再建されたもの。

(「大津 歴史と文化」「大津の社」より)

(公社)日本建築士会連合会の第56回全国大会神集う國 しまね すべてを引き寄せ 縁結ぶー「ものづくり」の原点を見つめるーに10月18日(金)から19日(土)の日程で参加してきました。18日の青年建築士のフォーラムの参加者を含め、合計33名での大会参加となりました。

18日に開催された全国建築士フォーラム(青年委員会担当)では大津地区 木村敏さん、湖南地区 野邑辰治さんの発表があり、活発で様々な意見が出る有意義なものでした。翌19日の大会では、講演や式典のほか、ブース展示のセッション会場もあり、都道府県若しくは支部単位で出展されている多くの建築士の方々と交流を深めることが出来ました。



大会会場前にて集合写真



木村委員、野邑委員の発表

青年委員会

あーき塾2013 風景をつくる素材と技シリーズ『瓦』事業報告

7月27日(土)近江八幡市にあるポリテクカレッジ滋賀にて、あーき塾2013 ～知ってるようで知らないこと、まだまだあります～「風景をつくる素材と技シリーズ『瓦』」と題した勉強会を開催しました。

講師には丸栄陶業株式会社の久保山氏をお招きし、三州瓦の歴史、種類、ガイドライン工法等をスライドを使うなど分かり易く話して頂きました。現在でもよく使われる棧瓦を発明したのは実は、大津の人で西村半兵衛という人だったというのも今回教えて頂きました。

その後、体験学習では瓦と同じ材料を使用しての粘土瓦ペーパーウェイトの製作を行いました。皆さん個性あふれる作品をつくっていたので焼上がりがとても楽しみです。大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

また会場には会員をはじめ、ポリテクの学生など会員外の方にも多数ご来場頂きありがとうございました。今後ともさらに新しい企画を準備していきたいと思いますので、次回のあーき塾にも沢山の方にご参加頂ければと思います。



平成25年度建設事業功労滋賀県知事表彰受賞

このたび、平成25年度建設事業功労滋賀県知事賞を3名の方が受賞されました。
今後ますますのご活躍をご期待申し上げます。



杉江文雄氏（湖南地区）



大角道雄氏（甲賀地区）



増田喜代司氏（大津地区）

矢場義章氏が平成25年度日本建築士会連合会長表彰受賞



平成25年度日本建築士会連合会長表彰を総務企画委員会委員長の矢場義章氏が受賞されました。

矢場氏は平成9年より本会理事を5期10年務められ、本会発展のためご活躍されておられます。特に平成20年より渉外事業委員会委員長、建築士試験運営チームのチームリーダーとして、法定講習、建築士試験の適正な運営に功績を上げられ平成21年より平成24年まで、湖東地区委員会委員長、湖東地域会代表として地域の活性化、組織の強化、建築士・建築士会の広報など会員の地位と技術の向上の為、尽力され今回の連合会会長表彰受賞となりました。

今後ますますのご活躍をご期待申し上げます。

青年委員会

研修旅行のお知らせ

予告！

今年度の青年委員会の研修先として、広島旅行を計画いたしました。

宮島の弥山山頂展望台から見渡せる瀬戸内海の美しい景色を堪能し、広島の美味しいグルメを満喫しましょう。
詳しい工程・研修内容は、次号にてご案内させていただきます。

◆予定工程：平成26年1月25日(土)～26日(日)

◆予定見学先：宮島弥山展望台・大和ミュージアム・広島市西消防署等

◆募集定員：40名（会員及び家族会員）



私たちは日々の職務において、会議や打ち合わせなど様々な場面で、様々な方々と関わり合いを持ちます。生活の場のコミュニティーにおいても然りです。

「第一印象は出会ってから6～30秒の間に決まってしまう」、「人間の情報収集は視覚によるものが83%を占める」と言われている一方、話し方や表情などでもその印象は変わってきます。

建築士として、一社会人として、自分らしさをアピールしながら円滑なコミュニケーションをはかれるスキルを身につけることはとても重要なことなのです。

今回は、企業向けにスタイリングアドバイザー、イメージコンサルタントプロとして活躍されている講師をお迎えし、その極意を学びたいと思います。

明るく良好な人間関係を構築したい方、男性、女性関係なくご参加ください。

開催日時：平成26年1月11日（土）

第一部 13:30～15:00 講演会

第二部 15:00～16:00 交流会

場 所：レストラン ヴェルサーレ

〒525-0046 滋賀県草津市追分町丸尾1000-1

tel. 077-565-6802

参加費：第一部 講演会 無料

※第二部 交流会はお茶代を頂戴いたします。

申込締切日：平成25年12月20日（金）

CPD単位：2単位（予定）

講師の紹介：吉原 三鈴（株）アメリティアラ 代表

ビューティースマイルデザインングプロ認定取得

クリエイティブボディデザインングプロ認定取得

カラー&イメージコンサルタントプロ認定取得



女性委員会 DoシリーズNo.65 コミュニケーションスキルを高めよう！ 参加申込用紙

会員/会員外	お 名 前	当日連絡先(携帯TEL)	FAXまたはメールアドレス
会 員・会員外			
会 員・会員外			
会 員・会員外			

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 **〈FAX.077-523-1602〉** (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

(公社) 滋賀県建築士会では、フォトコンテストを開催いたします。
 会員のみならずの自慢の作品をお待ちしております。

作品のテーマ 「建築とスポーツ」

「フリー」(風景・建物などテーマは問いません)

応募資格 特に制限は致しません。但し、作品は自作に限ります。

応募作品 4つ切(カラー・モノクロ)、ワイドタイプ可、作品は未発表のものに限ります。
 また撮影時期、応募点数は問いません。

表彰 *大賞賞金1万円 *入選賞金5千円

募集期間 平成25年11月～12月

審査 イオンモール草津にて展示し、一般の人の投票によります。

発表 平成26年5月ごろに、機関誌「家」及び滋賀県建築士会ホームページにて発表
 (<http://www.kentikushikai.jp/>)

応募方法 下記応募票に必要事項をご記入していただき、作品の裏面に糊付けの上、(公社) 滋賀県建築士会事務局までご持参いただくか、郵送にてお送りください。

送り先 〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3階
 (公社) 滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL. 077-522-1615

- 応募細則**
1. 入選作品の著作権は、主催者に帰属します。選外作品であっても使用することがあります。肖像権などについては、応募者の責任に於いて了解が得られているものとします。
 2. 応募作品は返却いたしません。ただし、返却希望者は郵便切手(500円分)を同封頂ければ返却いたします。
 3. 応募票に記載された個人情報は、当コンテスト以外には使用いたしません。
 4. 応募は会員・一般とさせていただきます。

主催団体 公益社団法人滋賀県建築士会



2013年大賞「玄燈の調べ」



公益社団法人滋賀県建築士会2014年フォトコンテスト応募票

作品名		テーマ	
コメント			
応募者氏名		撮影場所	
会員氏名		撮影年	
住所	〒	連絡先TEL	

機関誌「家」2014年号に掲載します『会員の声』の原稿を募集いたします。

日常業務や社会のこと、趣味や家族など内容は問いません。写真・資料等を含む1600字程度で原稿をお寄せください。
 詳しくは、(公社) 滋賀県建築士会事務局までお問い合わせください。

平成25年度第2回 滋賀県木造住宅耐震診断員および 滋賀県木造住宅耐震・バリアフリー改修工事講習会のお知らせ (新規登録者および登録更新希望者対象)

滋賀県内の各市町で実施されている木造住宅耐震診断員派遣事業による耐震診断や、木造住宅耐震・バリアフリー改修等事業費補助を受ける耐震改修工事に設計者、監理者、施工管理者として従事するためには、本講習会を受講した後に「滋賀県木造住宅耐震診断員」「滋賀県木造住宅耐震・バリアフリー改修工事講習会修了者名簿」に登録する必要があります。

この度、新たに各名簿に登録をし、耐震診断員として派遣を受けることおよび、補助を受ける改修工事の実施が出来るよう希望される方のための、講習会を下記のとおり開催致します。

- ・耐震診断と耐震改修工事の講習会は、同時開催です。
- ・講習会を修了された方には、講習会修了証を発行します。
- ・講習会を修了された方は、受講者の資格に応じて、「滋賀県木造住宅耐震診断員」「滋賀県木造住宅耐震・バリアフリー改修工事講習会修了者名簿」に登録申請することができます。

1. 会場及び日程

【場所】 ひこね燦ばれす多目的ホール 彦根市小泉町648-3 (JR南彦根駅徒歩8分)
※ひこね燦ばれす附属の駐車場は数に限りがあります。会場へは、公共交通機関でお越しください。
※会場は室内になります。上履きを持参してください。

【日程】 平成26年1月30日(木) 午後1時～午後5時(受付12時30分～)

2. プログラム内容(時間割は前後することがあります)

12:30～13:00 受付
13:00～13:05 開会挨拶
13:05～14:00 耐震診断事業、耐震改修事業等補助事業の説明
14:00～16:30 木造住宅の耐震性の安全確認・補強方法等について 講師:土野池建築設計事務所 所長土野池正義氏
16:30～17:00 閉会(修了証の授与:順番に授与しますので、お待ちいただくことがあります)

3. 受講料:無料

講習会テキストは下記のものになります。講習会ではテキストを使用しますので必ず準備してください。

- ・「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」指針と解説(水色)
- ・「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」例題編・資料編(黄色)

書籍は、(一財)日本建築防災協会から発刊されており、当財団法人のホームページから申込を行い、購入することができます。価格は2冊1組で7,000円となります。

※当日、事前希望者のみ会場で書籍購入できるよう手配します。(希望者は講習会申込時に確認します。)

4. 受講資格

耐震診断員	建築士(1級・2級・木造)の方で、県内に勤務または居住されている方
耐震・バリアフリー改修工事	設計者等 主たる事務所(本社・本店等)を滋賀県内に有し、建築士事務所登録を滋賀県知事より受けた建築士事務所に所属する建築士 施工管理者 滋賀県内に主たる営業所(本社・本店等)を有する法人、または個人事業所に勤務する者(受講者は技術系職員に限る)

5. 講習会受講後の名簿登録等について

当講習会を受講し、修了されると、受講資格に応じて、「滋賀県木造住宅耐震診断員登録名簿」または「滋賀県木造住宅耐震・バリアフリー改修工事講習会修了者名簿」への登録申請が行えます。

なお、登録申請には受講資格を示す建築士免許等の写しなどの添付書類が必要です。

※滋賀県暴力団排除条例(平成23年滋賀県条例13号)第2条第2号に規定する暴力団員は登録出来ません。

※講習会を受講登録しただけでは、名簿に登録されません。

(1)耐震診断員の登録

滋賀県木造住宅耐震診断員登録名簿は、市町が住民から依頼を受けて実施する耐震診断事業に、耐震診断員として依頼する際に活用されます。

(2)耐震・バリアフリー改修工事の設計者等、施工管理者の登録

滋賀県木造住宅耐震診断・バリアフリー改修工事講習会修了者(設計者等・施工者)名簿は、県および市町の補助金を受けて耐震改修を実施する工事の設計者、監理者、施工管理者として選定されるときなどに活用されます。登録名簿は公開です。

6. 講習会の申込方法

申込用紙に必要事項を記入の上、申込先にファックス、E-mailまたは郵送で送付して下さい。なお、受付は先着順とさせていただきます。

定員:更新受講者 240名程度 新規受講者 40名程度

※いずれも定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。

※申込書のお名前等の漢字は楷書で正確に記入いただきますようお願いいたします。(申込書を元に修了証が作成されます)

■申込用紙 滋賀県土木交通部建築課建築指導室のホームページよりダウンロードできます。ダウンロードは申込期間開始の平成25年11月1日から可能になります。

上記4の受講資格欄を必ずご記入下さい。なお、受講証を発行しますので、当日受付にて提示して下さい。

7. 申込期間

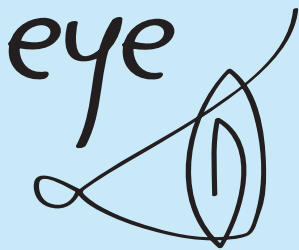
平成25年11月1日(金)から12月20日(金)必着

8. 申込先

講習会の申込先

滋賀県土木交通部建築課建築指導室(住まいの安全対策担当)

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1 TEL 077-528-4262 FAX 077-528-4912 E-mail hb0101@pref.shiga.lg.jp



— アイ・湖国びとの愛情視線 —

栗東市職員
第18回 竹山 和弘さん

まちづくりに懸ける情熱



たけやま かずひろ
竹山 和弘さん

1972年大阪府高槻市まれ。栗東市在住。
「生涯青春」をモットーに興味あること好きなことに全力投球。「笑う門には福来る」の精神で仲間の輪を広げ、まちづくりに取り組んでいる

地域資源を見直して活用、発信することで活性化につなげる現代のまちづくり。景観を切り口にした栗東市のまちづくりに取り組みながら市職員としての役割を探究している。

大学を卒業して1995年に栗東町役場（当時）に入り、都市計画課や水道課など事業系の部署で経験を積んだ。しかし、定期的な配置転換が公務員の定め。全く異なる分野に配属されれば振り出しに戻ってしまうのではないかと……そんな不安を抱くなか、05年に新幹線新駅の建設に向けた都市計画マスタープラン作りを担当したことが、まちづくりに関わるきっかけになった。

「住民参加型の計画作りとしてまず地域の声を聞くことから始まりました。地域への誇り、愛着に裏打ちされたユーモアあふれる夢とアイデアはとても興味深く、刺激を受けました。“地域のことは地域の住民に聞け”の意味を体感。夢中になって意見を交わし、気が付くと住民と自治体職員という壁は取り払われ、フラットな関係ができていました」



安養寺地区で開催したまちづくりイベント

しかし、06年の県知事選を機に新幹線新駅計画は大きく政策転換され、住民と思いを一にして練ってきた計画は公表されることなく頓挫してしまった。悔しさや様々な疑問を募らせていた時、またしても転機が訪れた。共に計画立案に取り組んできた大学教授から社会人大学院へ行ってみないかと誘われた。今回の一連の出来事を教訓として論文にまとめると同時にまちづくりの専門知識を身につけては、との提案に「まちづくりへの興味、関心、探求心の赴くままに決意しました」。

07年、京都橘大大学院に入学。まちづくりを研究する学識者や院生との出会いは枠を超えた広い視野を与えてくれた。昼間は市職員として働き、夜間に大学院で学ぶ。多忙ではあるが、まちづくりの研究と実践を同時進行できる。その強

みを生かして大学教授、院生、建築士、工務店、住民ら会員約150人で景観をテーマにしたまちづくりを進める「栗東市街道百年ファンクラブ」を結成し、中心メンバーグループ「TEAM街道知部（みちしるべ）」の事務局長として様々な活動に乗り出した。

栗東市岡、目川地区で「東海道ほっこりまつり」、観音寺地区で「観音寺集落まるごと里山学校」、安養寺地区では“住み親しんだまち、みんなでプラスに”を合言葉に「A+Plus」を立ち上げ、コミュニティガーデンやガイドブック製作、清掃登山などメンバーの特技を生かした活動に取り組む。

「まちづくりを進めるにあたって意識したのは（1）活動の場をつくること（2）活動資金集めなど情報を発信すること（3）仲間たちに負けない熱い思いを持つこと—です。そうした自治体職員としての役割に加え、仕事上身につけた知識やスキルなどをボランティアとして役立てることが、これからの地域づくりに必要な形ではないかと思っています。これも仲間と出会えたからこそ。人と人のつながりを宝に、これからもわが町にプラスになる活動を続けていきたい」と力を込めた。

（取材：Y. M）



まちづくりではガイドブックや絵本、冊子なども作った

甲賀地区

台風18号豪雨災害被災地ボランティアに協力
(甲賀市信楽町で活動)

9月15、16日の両日にわたり台風18号は滋賀県内に多くの被害をもたらしました。

甲賀地域でも降り始めから16日未明にかけて記録的な雨量が降り、土山町大河原では523mmもの雨量が観測され、市内各地で河川の氾濫による冠水や土砂の流入による被害、道路鉄道施設には多大な被害がもたらされ現在も不通となった区間も残ります、被害にあわれた方々には心よりお見舞いを申し上げます。

甲賀地区委員会では9月21日に緊急に被災地救援ボランティアを募り信楽町にて活動を行いました。前日の急な呼びかけでしたが現地には6名が駆けつけ、社会福祉協議会での受付の後、河川増水で家屋への浸水被害にあわれたお宅にそれぞれ分かれ、家財道具の搬出や床下の土砂の除去作業にあたりました。信楽は甲賀市内でも増水による被害が最もひどく中心市街地でもかなりの範囲に被害が及んでおりました、畳を上げ床板をめくり、その下の流れ込んだ土砂をかき出す作業は被害にあわれた住人の方だけでは大変であるばかりか、ご高齢の方ではとてもできない作業です。

わずか1日の作業でありましたが、個人としてだけでなく地域会にとっても貴重な経験となりました。参加くださいました井島様、中本様、藤橋様、服部様、藤木様ご苦労様でした。



11月の暦

1	金	赤口		11	月	赤口		22	金	大安	
2	土	先勝	家族親睦事業 近建女合同見学会	12	火	先勝	四役・委員長会議	23	土	赤口	勤労感謝の日
3	日	仏滅	文化の日	13	水	友引	「建築甲子園」審査会 まちづくり委員会 情報広報委員会	24	日	先勝	
4	月	大安	振替休日	14	木	先負		25	月	友引	
5	火	赤口		15	金	仏滅		26	火	先負	
6	水	先勝		16	土	大安		27	水	仏滅	
7	木	友引		17	日	赤口		28	木	大安	
8	金	先負		18	月	先勝	会員増強委員会	29	金	赤口	米原市大原小学校総合学習
9	土	仏滅	近建青(大阪) 近建協会長会議	19	火	友引		30	土	先勝	
10	日	大安	滋賀県の木でつくる応急仮設住 宅アイデアコンペ技術説明会	20	水	先負					
				21	木	仏滅	米原市大原小学校総合学習				

足のむくまま
近江再発見

近江国庁跡(大津市大江・三大寺地区)

近江国府跡は、大津市の大江地区や三大寺地区などに広がる1キロ四方の遺跡で、昭和38年に全国初の国府遺跡として発掘された。「国府」はさまざまな機関が集中する政治的な中心地で、このうち政務のため国が設置した役所を「国庁」と呼ぶ。ここに国庁がつくられたのは奈良時代の8世紀中頃のことで、国庁跡は、昭和48年に国史跡に指定された。国庁の東地区では、国庁の建物基壇として全国的にも初めての例となる、東西約24メートル×南北約13.3メートルの木製外装基壇も検出された。

(「大津 歴史と文化」より)



木製外装基壇



国庁築地堀